

珍しい管弦楽曲 フランス Minor Orchestra Works France

作曲者		生没年	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ★★★★:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Louise Farrenc	ファランク	1804-1875	序曲 第1番(1834)	★★★★	メンデルスゾーンに似た雰囲気があります。(7分)		cpo 999 820-2	cpo
			序曲 第2番(1834)	★★★★	同上(7分)			
Edouard Lalp	ラロ	1823-1892	歌劇”イスの王” 序曲 (1875-88)	★★★★	12分。大変躍動的で聞き映えがします。		CHAN 20183	CHANDOS
			バレ音楽「ナムーナ」より「たばこのワルツ」(1868-71)	※※	6分。特に聴きどころ無し。			
			バレ音楽「ナムーナ」組曲 第1番(1868-71)	★★★★	5曲で22分。1、5曲目は立派です。他の曲も聞き映えがします。			
			バレ音楽「ナムーナ」組曲 第2番(1868-71)	★★★★	5曲で13分。どの曲も聞き映えがします。			
Vincent D'indy	ダンディ	1851-1941	歌劇”フェルヴァール”第1幕への前奏曲(1889)	※※	おだやかな曲です。(5分)		8.573522	NAXOS
			交響的変奏曲 イスタール (1896)	※※	変化に富んで聞き映えのする部分もあります。(13分)		8.573522	NAXOS
			交響詩”思い出”(1906)	※※	変化に富んで聞き映えのする部分もあります。(19分)		8.573522	NAXOS
Charles Koechlin	ケ克蘭	1867-1950	交響詩”はるかに”(1900)	★★★★	9分。落ち着いた気分の曲です。		c5533	capriccio
			3つの歌曲(1895-1900)	★★★★	12分。気持ちの良い音がします。		c5533	capriccio

Jacques Ibert	イベール	1890-1962	祝典序曲(1940)	★★★★★	昭和15年(1940年)の皇紀2600年記念に委嘱された曲です。他にリヒャルト・シュトラウス、ピツェッティなどの委嘱曲もありますが、イベールのこの曲が際立って優れています。タイトル通りに祝典的な気分にあふれています。また中間部のアルトサックスによる旋律は非常に美しいです。第2次世界大戦中の1940年、フランスはドイツに攻め込まれ国土の半分を占領されています。日本はまだ参戦していなかったとはいえ、ドイツの同盟国でした。その日本のためにこのような好戦的な気分の曲を書いていて良かったのでしょうか。(14分)	○	WPCS28049	ERATO
Elsa Baraine	バルレーネ	1910-1999	アンドレ・スプールの「ポグロム」のための交響的イラストレーション(1933)	※※	9分。ポグロムは同時代のユダヤ人詩人の詩の題名。戦争前の雰囲気強い。		555704	Cpo
			ティツィアーノの埋葬のための葬送音楽(1953)	※※	10分。ピアノ付。ローマ賞の副賞としてのイタリアのメディチ家での3年の留学を思い起こす曲。		555704	Cpo